

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2009・4



まちの人

西町地区福祉のまち推進センター 事務局長

もちづき ひろこ
望月 弘子さん (68)

福祉のまち推進センター

「福祉のまち推進事業」を進めていくために、おおむね連合町内会ごとに設けられている組織。「福祉のまち推進事業」は、少子・高齢化が進む中、地域ぐるみで互いに支え合う環境を整えることを目指して、社会福祉協議会と札幌市が協力して行っているもので、独居高齢者の見守り、交流、家事支援、除雪支援など、地域に密着した活動をしている。



■地域福祉マップ作成の様子

宮の沢在住の望月さんが事務局長を務める西町地区福祉のまち推進センターが、三月五日に札幌市の「ぬくもり・すこやか表彰」を受けました。この表彰は保健福祉分野で模範的な取り組みを行っている個人・団体が対象で、同センターの「地域福祉マップ」作りなどの取り組みが評価されたものでした。

「地域福祉マップ」は高齢者が住んでいる住宅が分かるように地図上に印を付けたもの。どこにどのような高齢者が住んでいるかが一目で分かるため、独居高齢者の日常の見守り活動に役立っています。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp で西区総務企画課広聴係上欄へ。

地域のため = 自分のため

「マップを作り始めたころはノウハウが無くて試行錯誤の連続でした。完成できたのは協力してくれた地域の皆さんのおかげ」と望月さんは感慨深げです。さらに「マップでできました。ハイ終わり」では意味がない」との思いから、マップを基に、誰が誰の安否確認をするかを決めて連絡網を作るなど、災害などの緊急時にも慌てずに対応できる体制を整えています。

これらの取り組みについて、ほかの地区から頼まれて勉強会の講師役を務めたことも何度もありました。「取り組みがほかの地区に広がっていくことはうれしい」と望月さんはほほ笑みます。

「地域の福祉は一人ではどうにもなりません。今の活動があるのは地域の皆さんの熱意と協力があつてこそ」と、望月さんは「地域住民の輪」の大切さを強調します。

「自分が老後に住みたい町にならばいいな」という思いで、支えてくれる仲間たちと楽しみながら活動していると、望月さん。「いつか引退したら、この温かい町でのんびりと過ごすのが夢」とさわやかに語ってくれました。